

のみだより

2007
第11号



春の陽ざしの下、花見だんごをほおぼる園児たち
国造保育園 園外保育(手取川水辺プラザ)

◆ 定例会報告	2
◆ 代表質問	5
◆ 一般質問	6
◆ 討論	11
◆ 委員会報告	12
◆ 視察報告	15
編集後記	

発行日:平成19年4月27日
発行:能美市議会
編集:広報特別委員会

〒923-1297 能美市役所辰口庁舎
石川県能美市来丸町1110番地
TEL:(0761)52-8007(代)
FAX:(0761)52-8022
E-mail:gikai@city.nomi.lg.jp



平成19年第1回

定例会報告

平成19年度能美市予算が
可決されました。

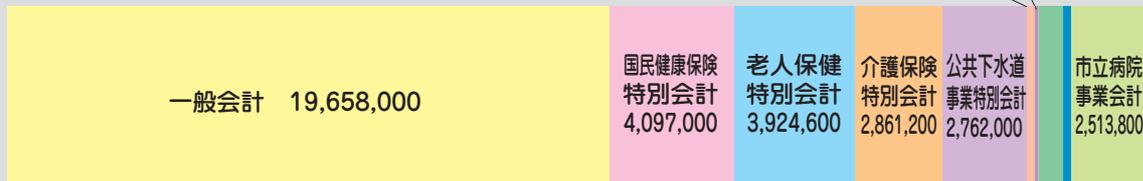
(会期:平成19年3月5日~23日)

3月定例会において、平成19年度の一般・特別・企業会計の各予算が可決されました。
平成19年度の一般会計予算は、歳入・歳出ともに196億5,800万円と前年に比べ3.9%の増となります。

当初予算の状況 (単位:千円)

平成19年度

合計 37,017,300

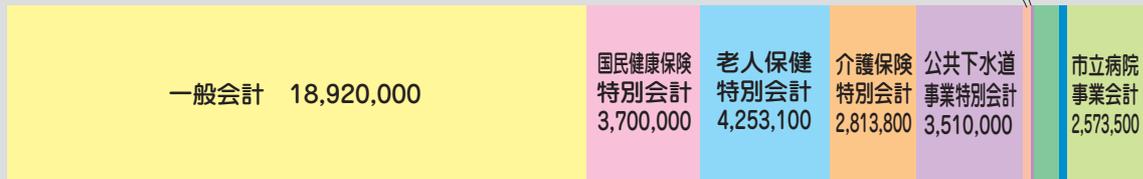


水道事業会計 797,100

工業用水道事業会計 262,700

平成18年度

合計 36,935,100



水道事業会計 815,900

工業用水道事業会計 250,900

副市長に高塚善衛氏を選任

地方自治法の一部改正に伴い、「助役」から「副市長」に職名が変わりました。
また、これまで助役を務めていました吉村治雄氏が4月から県庁に戻られることになり、その後任としてこれまで市の総務部長を務めていました高塚善衛氏が選任されました。

審査結果一覧

	案 件 名		採決結果
予算案件	平成19年度能美市一般会計予算		可決(賛成多数)
	平成19年度能美市国民健康保険特別会計予算		可決(全会一致)
	平成19年度能美市老人保健特別会計予算		可決(全会一致)
	平成19年度能美市介護保険特別会計予算		可決(全会一致)
	平成19年度能美市公共下水道事業特別会計予算		可決(全会一致)
	平成19年度能美市農業集落排水事業特別会計予算		可決(全会一致)
	平成19年度能美市温泉事業特別会計予算		可決(全会一致)
	平成19年度能美市水道事業会計予算		可決(全会一致)
	平成19年度能美市工業用水道事業会計予算		可決(全会一致)
	平成19年度国民健康保険能美市立病院事業会計予算		可決(全会一致)
条例案件	条例制定	能美市名誉市民条例の制定について	可決(全会一致)
		能美市賞条例の制定について	可決(全会一致)
		能美市表彰条例の制定について	可決(全会一致)
		能美市都市計画法施行条例の制定について	可決(全会一致)
		能美市副市長の定数を定める条例の制定について	可決(全会一致)
	一部改正	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について	可決(全会一致)
		能美市職員定数条例の一部を改正する条例について	可決(賛成多数)
		能美市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	可決(賛成多数)
		能美市常勤の特別職の給与に関する条例及び能美市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
		能美市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
		能美市税条例の一部を改正する条例について	可決(賛成多数)
		能美市児童館条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
		能美市子育て支援金支給条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
		能美市企業立地促進に関する条例の一部を改正する条例について	可決(賛成多数)
		能美市立九谷焼陶芸館条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
		能美市営住宅条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
		能美市手数料条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
能美市立辰口学校給食センター条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)		
能美市公民館条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)		
能美市公共下水道条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)		

審査結果一覧

	案 件 名	採決結果
補正予算	平成18年度能美市一般会計補正予算(第7号)	可決(全会一致)
	平成18年度能美市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)
	平成18年度能美市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
	平成18年度能美市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
	平成18年度能美市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)
	平成18年度能美市温泉事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
	平成18年度能美市水道事業会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)
	平成18年度能美市工業用水道事業会計補正予算(第4号)	可決(全会一致)
選 挙	石川県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	当選人 荒田 正信
その他案件	石川縣市町村職員退職手当組合理約の変更について	可決(全会一致)
	南加賀広域圏事務組合理約の変更について	可決(全会一致)
	能美介護認定事務組合理約の変更について	可決(全会一致)
	手取川水防事務組合理約の変更について	可決(全会一致)
	小松能美広域事務組合理約の変更について	可決(全会一致)
	能美広域事務組合理約の変更について	可決(全会一致)
	手取川流域環境衛生事業組合理約の変更について	可決(全会一致)
	手取郷広域事務組合理約の変更について	可決(全会一致)
	石川縣市町村消防団員等公務災害補償等組合理約の変更について	可決(全会一致)
	石川縣市町村消防賞じゅつ金組合理約の変更について	可決(全会一致)
	町及び字の区域の変更並びに字の区域の廃止について	可決(全会一致)
報告案件	専決処分報告について (平成18年度能美市一般会計補正予算(第6号))	可決(全会一致)
	専決処分報告について (損害賠償の額の決定及び和解について)	可決(全会一致)
人事案件	能美市教育委員会委員の任命について(池田 和臣 氏)	可決(全会一致)
	人権擁護委員の推薦について(任田 猛 氏)	可決(全会一致)
	能美市副市長の選任について(高塚 善衛 氏)	可決(全会一致)
議会案件	能美市議会委員会条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
	能美市議会会議規則の一部を改正する規則について	可決(全会一致)
	「がん対策推進基本計画」の早期決定を求める意見書	可決(全会一致)
	医師不足を解消し、安心して医療を受けられる体制の堅持を求める意見書	可決(全会一致)
	地域経済の活性化と若年者の安定した雇用の拡大を求める意見書	可決(全会一致)
	漂流・漂着物に対する総合対策の確立に関する意見書	可決(全会一致)



代表質問

能政会
杉田 隆一 議員



Q 新年度予算編成を終えての感想は

A 市長答弁

市民ニーズに応えるべく積極的な予算要求であったが、少子高齢社会の到来に備え、持続可能な予算編成を念頭に、対前年比3.9%増で収支均衡を保つことができた。

Q 総合計画基本構想の重点是

A 市長答弁

新市の一体化促進、活性化事業計画の早期完成を目指すとともに、能美市の更なる発展と安全で安心して暮らせるまちづくり経費や調査費を計上した。

Q 健全財政にかける強い決意が感じられるが

A 市長答弁

一般会計に占める民生福祉関係予算及び合併特例債を含む公債費の増大から財政の硬直化は避けられず、更なる行財政改革が急務の課題である。事務の合理化を進め、定員削減、給与手当の適正化、公共施設の効率的な管理運営、公共工

事のコスト縮減等を検討したい。

Q 市税徴収に対する考え方と今後の取り組みは

A 市長答弁

市税や各種料金の徴収を適正に執行する。悪質な滞納者には、法的措置を視野に入れ、補助金関係を凍結する。滞納者対策として、対策本部の設置検討や専門職員の派遣を通じて徴収職員のスキルアップを図っていく。

Q 厳しい経営状況の市立病院対策は

A 市長答弁

医師の退職と外来患者の減少で厳しい状況が続いている。周辺自治体病院との連携、地域に特化した病院経営、経営健全化等について検討していく。

Q 能美インターチェンジ構想に期待を寄せているが

A 市長答弁

優秀な企業群、先端大やサイエンスパークを有し、高速道路の利活用を通じて地域振興策が実現できる。インターチェンジ設置には、技術・財政・利用台数などの高いハードルがあるが、最重要課題と認識している。

Q 二つの都市計画区域の統一に対する考えは

A 市長答弁

統一には、能美市単独で区域を設定し、用途

指定を行い、市街地形成と保全を図る必要がある。全国事例も少数であり、実現までには、かなりの期間を要す。

Q 成人式や軽スポーツ大会など3会場で行っているものを統一できないか

A 市長答弁

関係団体などの意向を踏まえ、今後望ましいあり方について検討したい。

Q 産・学・官連携の考え方は

A 市長答弁

地域間競争に打ち勝ち、特色ある地域づくりを行う上で最重要課題と位置づけている。情報交換を活発に行っており、今後も連携を強化し、事業を展開していく。

Q 新市建設計画の進捗状況と今後の方針は

A 市長答弁

JR駅周辺環境整備事業は内部調整中。辰口中心街活性化事業は温泉施設の位置を福祉会館西端に変更し、新規に温泉井戸を掘削する。電線類の地中化事業に着手する。東西幹線道路は一部改良工事に着手し、地元説明会や現況調査等を行っている。その他、西川浸水対策、能美古墳群の整備等、関係機関への働きかけや検討に入る。わだやま荘の改築は建設に対する基本的コンセプト、既存類似公共施設との整合性を見極める必要から予算執行に至っていない。



一般質問

倉元 正順 議員



Q 子どもたちの未来のために能美市独自の教育施策を構築すべきと考えるが見解を示せ

A 教育長答弁

社会環境等が複雑に絡み合った中で、保護者や子どもたちの意識も大きく変化し諸問題の解決は非常に難しい。しかし何よりもまず教職員の資質と授業力の向上を図ることが大切である。

合併により指導主事らプロパーによる学校教育課が新設され学校への直接指導を行うことができた。これはこれまでの教育行政にはできなかったことで、さらなる充実を図る。

Q 教育委員会の役割や実情を示せ

A 教育長答弁

実質的な教育行政の展開は、教育長を中心とした教育委員会事務局が行い、教育委員は定例委員会で事務局の提案に対して、大所高所から助言、指導を行っている。

それを受けて事務局として適切な教育行政を行っていきたい。



▲寺井小学校1年生授業風景

北村 國博 議員



Q 子育て中の女性と母子家庭等ひとり親への就業支援策を充実せよ

A 市長答弁

子育てしながら働くチャンスと生き甲斐を与えることが重要であり、能美市独自の支援制度の確立を求める。

新年度から自立支援プログラム策定員を設置し、就労に向けた窓口としてきめ細やかに対応したい。

Q マザーズ・ハローワーク(※)を実施せよ

A 市長答弁

子育てしながらも働きやすい職場の確保は重要であり、先進地事例を参考にしながら対応を検討したい。

Q 能美市が保有する資源・資産を有効活用し市民一体の総力戦としてHPや広報誌を活用した広告活動を実施せよ

A 市長答弁

広告掲載の基準等を精査しながら、HPやバナー広告、平成20年4月から本格運行予定のコミュニティバスの広告事業を中心に对应していきたい。

※マザーズハローワーク
子育てしながら就職を希望している方に対して、子ども連れで来場しやすい環境を整備したり、就職に対する希望やニーズに応じたきめ細かな就職支援等を行うための事業。



一般質問

青山 利明 議員



Q 選択と集中

能美市にはクアハウス、わだやま荘、辰口福祉会館もある。市長は選択と集中といわれた。クアハウスに宿泊施設を取り入れ健康施設の充実、バリアフリー化などのリニューアル、入館料の適正化をせよ。

A 市長答弁

今後、十分検討したい。

Q 健康で長生き

健康寿命をのばすために地域の公民館などを活用した健康教室、器具の購入などに助成をせよ。

A 市長答弁

指摘の方策を含めて、ヘルスアップ事業など健康づくり教室や職員手づくりの、のびのび体操の普及、指導に努めたい。

Q 入札制度の改善

石川県は最終的には一千万円まで対象価格の引下げを予定している。能美市も一般競争入札の本格導入と対象価格の引下げ、手続きの簡素化をせよ。

A 市長答弁

一般競争入札の対象範囲の拡大と事後審査方式を検討したい。



嵐 昭夫 議員



Q 新たな財源確保に広告事業の実施について

実施している自治体は200を超えていると言われている。実施について検討せよ。

A 市長答弁

資産の有効活用にどのような広告や方法があるか、行財政改革の一環として検討していきたい。

Q アントレプレナーシップの制度化について

緊急性、必要性の高い事業について、職員みずからの新たな発想や提案により実施する制度を取り入れよ。

A 市長答弁

経営の効率化、合理化、市民サービスの向上を図るため、真剣に勉強する状況に入っている。新年度から事務事業を円滑迅速に処理するため庁内組織を横断するプロジェクトチーム設置の規程を整備した。指摘のシステムについては、今後勉強していきたい。

Q 運転免許返納高齢者にタクシー乗車サービス券を

運転に自信がなくなり自主的に運転免許を返納された方を対象に、サービス券の発行を。

A 市長答弁

免許を返納された方で障害が出て外出が困難になった方には現行の福祉サービスで対応が可能。今後、コミュニティバスの充実化に努め、返納者の実態を見ながら適宜対応していく。



一般質問

北野 哲 議員



Q 南部横断道路の進捗度は

根上地区の小松インター線は平成19年度に一部工事着工を用いているが、寺井地区の都市計画道路寺井湯谷線は路線が決定しているか。

A 市長及び産業建設部長答弁

代表質問に詳細に答弁した。小松インター線は平成17年度から事業に着手し22年度完成を目指している。都市計画道路寺井湯谷線は昨年末までに地元説明会を終え、測量設計に着手している。寺井町地内は町会

や商店街と協議し計画案を作成する。

Q 中山間地振興につ

「能美の里山ファン倶楽部」が結成され、多くの企画があるが、農地の耕作放棄と山林の荒廃の対策はどうか。

A 市長答弁

平成14年度に有限会社こくぞうが設立され農作業を委託し年々利用者が増加している。山林は12年度よりかが森林組合と連携し、毎年約50ヘクタール整備している。県は19年度より森林環境税を導入する。市の森林整備にもこの制度による支援が受けられないか要望する。

白川 寛 議員



Q 新型インフルエンザ対策として、市立病院の対応は

市立病院感染防止委員会が設置されており、新型インフルエンザに関する情報は毎日厚生労働省から配信され必要な情報は速やかに処理し対応している。

A 市立病院管理部長答弁

Q 発生時の自治体での対応は

広域での健康危機管理体制が大切である。各機関と十分連携をとり危険のある

A 市長答弁

ときは関係部局に指示し安全対策に周知徹底したい。

Q 海浜自転車道指定変更について

離岸堤により砂浜が復元するなか、自転車道の飛砂を除去せず東側管理道に振り替える。

A 産業建設部長答弁

自転車道は海岸保全施設と道路が一体となった兼用工作物である。山側の管理道路は砂利道で舗装整備工事に多額の費用を要し海岸の厳しい自然環境に対抗するには課題が大きく管理運用方針は県当局と検討課題にしたい。





一般質問

居村 清一 議員



Q 里山に新たな産業の創出を

まず、休耕田をなくす米づくり農業の基盤づくりの施策をすべき。

次に、ゆずの生産性向上と新たな産業の創出（例、ゼンマイ）は、環境保全と安定した暮らしに必要なと思うが市長の意見は。

A 市長答弁

米余りの時代で転作もできず休耕田はやむを得なかった。里山ファン倶楽部の活動を通じ、山菜やそばなど体験耕作の場として活用。

ゆずは販売強化と、温浴剤

の開発で有効利用し、販売拡大につなげる。

Q 任期半ば、市長の市政に対する決意は

合併の合言葉「サービスは高く、負担は低く」の現況は、負担が増すばかりだ。市民の不平等、不満の解消や、合併効果をどう表わしていくのか、市長の今後の取り組みを問う。

A 市長答弁

目先の利害にとらわれず、先を見据え、負担をこれ以上増やさないための合併を認識。今後、総合計画に基づき、具体的事業を展開する。

重要課題は、能美インターチェンジ、JR寺井駅周辺整備、東西幹線道路、中心街活性化の推進、保育園統廃合、新工業団地の造成などである。

井出 善昭 議員



Q 合併効果の見える施策を

市職員の定数削減には、体制・システムを見直す必要がある。

公共施設の統廃合を検討し、徹底した合理化を図り、合併した効果を最大限引き出す政策を問う。

A 市長答弁

合併効果の見える基本線を早く打ち出せるよう努力する。

庁舎統廃合については議会の特別委員会が検討している。議会の見解を教示願いたい。仮に新庁舎建設と

なると問題は場所の選定だ。市民の合意を得るには課題は多くある。

一体化促進事業として、東西幹線道路の構築が具体化してくれば、まちづくりとの整合性の中で考える。

現在の庁舎の有効活用策もあわせて検討の必要もある。

Q 中心街活性化事業で3つの核をつくるというが、市が分断される危険はないか

A 市長答弁

各地区の中心街活性化基本計画の策定事業、多極分散型都市構造の中で、一体化促進の対応を進めたい。





一般質問

近藤 啓子 議員



Q 定率減税の全廃で、2億円の税負担増
市民の暮らし応援に還元せよ

A ① 出産一時金35万円を現物給付とし、出産時の負担軽減をすべきだ。
② 3人目以降の保育料の無料化をすべきだ。
③ 65歳からの医療費助成は、税制改正だけで4分の1の人が対象外となった。収入・所得に見合ったものに改善すべきでないか。

A 市長答弁

① 出産一時金は、4月から現物給付とする。
② 保育料の軽減は考えず、子育て支援として、市として第3子以降への支援金額を倍増する。
③ 医療費助成の対象範囲拡大は考えていない。

Q 一斉学力テストへの参加を中止せよ

4月24日に全国一斉学力テストが実施される。
① 結果の公開は子どもと学校に序列をつけ、競争を加速させる。
② 受験産業の参入で、国と企業に個人情報すべて集中し、個人情報保護と外部への漏れも懸念される。

以上のことから、教育委員会の判断で中止すべきでないか。

A 教育長答弁

教育効果検証のために必要。学校間の公表はせず、校長を通じて各教師に徹底する。民間企業へは、文科省が厳格に指導する。

Q 再質問

A 教育長答弁

教育効果の検証のためなら、学校名、個人名は必要ないのでは。無記名では判断できない。

福田 豊 議員



Q 九谷焼振興策について

九谷焼は能美市を代表する地場産業の工芸品。市内中学校での給食用食器への活用、また授業での実習の現状、今後の取り組みは。

九谷焼の技術開発に先端大などの産学官連携が取り入れられないか。

A 市長答弁

寺井地区の全小学校で月1回九谷焼の食器を給食で使用。また、市内全小中学校で社会科や総合学習で九谷焼を学習。湯野小学校では上絵付け等の実習、寺井中学校では陶芸部で日々活動。

業界、先端大、県工業試験場との産学官連携を強化し、

業者の経営能力や無鉛九谷焼商品等品質の向上を推進。具体的には地域再生人材養成講座等の開催。また、九谷焼資料館と同美術館、同陶芸館、九谷陶芸村の活性化のためビジョン委員会を立ち上げ、九谷焼の今後の方向性を見出す。

Q 団塊世代の退職について

今後見込まれる「大量」退職にともなう退職手当の財源措置についての対応は。

また、連動する職員削減計画は、現状の3庁舎分庁方式のままでは困難と思われるがどうか。

A 総務部長答弁

当市は退職手当組合に加入しており、また制度改正により必要となる調整額の負担金は職員の削減にともなう節減経費で対応。

現状で削減計画を進めると市民サービスの低下、職員の負担増加となる。円滑な計画推進には、組織の簡素化、業務内容の見直し、民間委託等検討が必要。



討 論

賛 成

能政会
居村 清二 議員



市長は予算編成にあたり、極めて厳しい地方財政の現状を踏まえ、真の合併によるメリットを追求するための準備期と位置づけている。

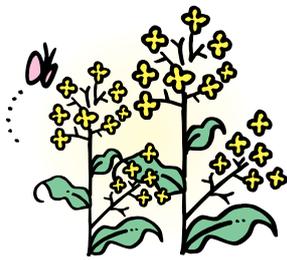
事業全般にわたり、その必要性、効率性、効果を検討し、新市能美市総合計画を基本に捉えて、新市全体における一体感の醸成と市政の均衡ある発展を目指して「選択と集中」により、将来にわたり健全財政の維持に努めたと述べられ

ていた。

特に産学官の連携による企業の発展、新たな企業誘致は、雇用の拡大、税収増へつながる。

先端大と九谷焼再生事業は、市の誇れる産業として今後大いに期待する。

環境問題では、市民と共に取り組むことで、小さなことから大きな成果を。幹線道路網整備や、公共交通（コミュニティバス）の確保は、市民の一体感を強める施策である。能美市の将来を担う子どもたちが通う学校の耐震工事は、早急に整備を。などなど、全体に細やかな配慮と工夫の跡が読み取られる予算と評価し、すべての議案に賛成する。



反 対

近藤 啓子 議員



市長は「厳しい地方財政の現状と予測から《選択と集中》で、持続可能な健全財政を推進」と述べられたが、大きな公共事業が目白押しである。

将来の健全財政を考えれば、辰口中心街活性化事業の温泉施設の建設、小松インター線は、厳格に見直すべきである。企業の誘致それ自体に反対ではないが、住民には、大

切ながん検診の費用まで負担させ、企業呼び込みのためには、道路の整備、インターチェンジ設置調査費をつけ、既存の企業の設備投資には最高5億円の大盤振舞は認められない。

定率減税の廃止で、2年間で2億円、合併による都市計画税の不均一課税調整で、6、900万円の税金の負担増に加え、昨年から税制改悪で介護保険料など雪だるま式に負担が増えている。

更に、がん検診の負担増加690万円、コミュニティバス代900万円の負担増は絶対に認められない。少なくとも増税となった税金は市民の生活応援に還元すべきである。



総務 常任委員会



▲総務常任委員会風景

委員会付託案件 14件 報告 1件

- 能美市名誉市民条例の制定について →原案承認（全会一致）
- 能美市賞条例の制定について →原案承認（全会一致）
- 能美市表彰条例の制定について →原案承認（全会一致）
3条例は能美市表彰条例であり該当者の選考は推薦委員会や選考委員会において選考される。
- 能美市副市長の定数を定める条例の制定について →原案承認（全会一致）
- 地方自治法の一部改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について →原案承認（全会一致）
関係条例の整備に関するもの
- 能美市職員定数条例の一部を改正する条例について →原案承認（全会一致）
平成22年までに一般職員の定数を17名減、各部局間の調整を図るもの
- 能美市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について →原案承認（全会一致）
国の人事院規則の改正によるもので国に準じ改正するもの
- 能美市常勤の特別職の職員の給与に関する条例及び能美市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例について →原案承認（全会一致）
今後特別職の給与を平成20年3月まで2%減額するもの
- 能美市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について →原案承認（全会一致）
管理職手当の定額化と扶養手当の改善を行うもの
- 能美市税条例の一部を改正する条例について →原案承認（全会一致）
前納報奨金の最高限度額を3万円から1万円に変更
- 石川県市町村職員退職手当組合理約の変更について →原案承認（全会一致）
- 南加賀広域圏事務組合理約の変更について →原案承認（全会一致）
いずれも地方自治法の一部改正に伴う見直し
- 平成19年度能美市一般会計予算（所管事項） →原案承認（全会一致）
新年度予算に関するもの
- 平成18年度能美市一般会計補正予算（第7号）（所管事項） →原案承認（全会一致）
事業の確定による精算が主なもの。
- 専決処分報告について（平成18年度能美市一般会計補正予算（第6号））（所管事項） →報告承認（全会一致）

委員会における質疑応答

- Q** 旧各町の名誉町民はそのまま名誉市民として受け継ぐのか。

A そのまま名誉市民として受け継ぐものではない。
- Q** 前納報奨金の限度額引き下げによりどれくらい節減できるのか。

A 約120万円が節減できる。
- Q** 駐輪場と駐車場管理費と駐車場の収入はどうか。

A 駐輪場の管理費294万円、主に人件費、公営駐車場の管理費777万円、収入はJR駐車場約300万円、JAISTパーキング使用料800万円。
- Q** 期日前投票の経費はどれくらいか。

A 県議選で213万円。

産業建設 常任委員会



▲産業建設常任委員会風景

委員会付託案件 19件

- 能美市都市計画法施行条例の制定について →原案承認（全会一致）
県が行っていた開発許可事務を能美市で行うことになったことによる条例改正
- 能美市企業立地促進に関する条例の一部を改正する条例について →原案承認（全会一致）
市内特定地域において既に操業中の企業が工場等の増設を行い県が支援するもの
に限り県と協調支援する条例改正
- 能美市立九谷焼陶芸館条例の一部を改正する条例について →原案承認（全会一致）
入館料の料金区分を改める条例改正
- 能美市営住宅条例の一部を改正する条例について →原案承認（全会一致）
老朽化した市営住宅を取り壊したことによる管理戸数の変更
- 能美市手数料条例の一部を改正する条例について →原案承認（全会一致）
建築確認事務における手数料を追加するもの
- 能美市公共下水道条例の一部を改正する条例について →原案承認（全会一致）
下水道に流入する特定事業場からの排水に含まれる亜鉛の排出基準を強化するもの
- 手取川水防事務組合規約の変更について →原案承認（全会一致）
組織の一部を変更するもの
- 町及び字の区域の変更並びに字の区域の廃止について →原案承認（全会一致）
辰口町と来丸町の字の区域の変更と字の区域を廃止するもの
- 平成19年度一般会計予算（所管事項） →原案承認（全会一致）
- 平成19年度能美市公共下水道事業特別会計予算 →原案承認（全会一致）
- 平成19年度能美市農業集落排水事業特別会計予算 →原案承認（全会一致）
- 平成19年度能美市温泉事業特別会計予算 →原案承認（全会一致）
- 平成19年度能美市水道事業会計予算 →原案承認（全会一致）
- 平成19年度能美市工業用水道事業会計予算 →原案承認（全会一致）
- 平成18年度能美市一般会計補正予算（第7号）（所管事項） →原案承認（全会一致）
- 平成18年度能美市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号） →原案承認（全会一致）
- 平成18年度能美市温泉事業特別会計補正予算（第1号） →原案承認（全会一致）
- 平成18年度能美市水道事業会計補正予算（第3号） →原案承認（全会一致）
- 平成18年度能美市工業用水道事業会計補正予算（第4号） →原案承認（全会一致）

委員会における質疑応答

- Q** 新規事業の能美インターチェンジ建設について高速道路会社とある程度話はできているのか。

A 県道路建設課が窓口になっており、交通量など調査し、物理的・技術的資料をそろえたうえで中日本高速道路株式会社と協議する。
- Q** 能美市企業立地促進条例の一部改正について、金額が大変大きいのが認定の基準は何か。

A 県が支援するものだけに、県と協調して支援するものである。
- Q** 現在の水道事業会計の累積欠損は。

A 平成18年度欠損見込みは5800万円。合併前からの累積は9億140万円になる。

教育民生 常任委員会



▲栗生児童館視察

委員会付託案件 19件 報告案件 1件

- | | |
|--|-------------|
| ○能美市児童館条例の一部を改正する条例について | →原案承認（全会一致） |
| ○能美市子育て支援金支給条例の一部を改正する条例について | →原案承認（全会一致） |
| ○能美市立辰口学校給食センター条例の一部を改正する条例について | →原案承認（全会一致） |
| ○能美市公民館条例の一部を改正する条例について | →原案承認（全会一致） |
| ○能美介護認定事務組合規約の変更について | →原案承認（全会一致） |
| ○小松能美広域事務組合規約の変更について | →原案承認（全会一致） |
| ○能美広域事務組合規約の変更について | →原案承認（全会一致） |
| ○手取川流域環境衛生事業組合規約の変更について | →原案承認（全会一致） |
| ○手取郷広域事務組合規約の変更について | →原案承認（全会一致） |
| ○石川県市町村消防団員等公務災害補償等組合規約の変更について | →原案承認（全会一致） |
| ○石川県市町村消防賞じゅつ金組合規約の変更について | →原案承認（全会一致） |
| ○平成19年度能美市一般会計予算（所管事項） | →原案承認（賛成多数） |
| ○平成19年度能美市国民健康保険特別会計予算 | →原案承認（全会一致） |
| ○平成19年度能美市老人保健特別会計予算 | →原案承認（全会一致） |
| ○平成19年度能美市介護保険特別会計予算 | →原案承認（全会一致） |
| ○平成19年度国民健康保険能美市立病院事業会計予算 | →原案承認（全会一致） |
| ○平成18年度能美市一般会計補正予算（第7号）（所管事項） | →原案承認（全会一致） |
| ○平成18年度能美市国民健康保険特別会計補正予算（第3号） | →原案承認（全会一致） |
| ○平成18年度能美市介護保険特別会計補正予算（第2号） | →原案承認（全会一致） |
| ○専決処分の報告について（平成18年度能美市一般会計補正予算（第6号））（所管事項） | →報告承認（全会一致） |

委員会における質疑応答

- | | |
|---|--|
| <p>Q 栗生児童館の管理体制はどうか。</p> <p>A 市職員を1名配置し、他の児童館と同様、児童厚生員や学童クラブ指導員を配置する。管理は市直営とする。</p> | <p>Q 保育園統廃合等検討委員会はどのような方向を目指しているのか。</p> <p>A 単に統廃合のみでなく、民間参入を含めた内容について検討を深めていきたい。</p> |
| <p>Q 子育て支援金支給期間を3年間に限る理由は。</p> <p>A 事業効果をみるためである。出生率等の効果があると判断された場合、3年後に再度継続するかどうかを諮る。しかし、支援金制度等だけで真の少子化問題に対応できるかは判断できない。</p> | <p>Q 今年度から開設される教育センターの役割は何か。</p> <p>A 不登校児童への支援を含め、学校復帰後の学力保証や人間関係づくりの一助となる事業を展開したい。</p> |
| <p>Q 児童手当の能美市全体における対象者の実態はどうか。</p> <p>A 第1子・2子が5,332名、3子以降が757名、合計6,089名。3歳未満の1子・2子の対象者は約1,200名を予想している。</p> | <p>Q 市立病院の医師の現状と今後の見通しについて。</p> <p>A 医師の確保は市としても全力で取り組んでいるが難しい。人材斡旋をしている企業等にも働きかけて、あらゆる対策を講じていく。</p> |
| | <p>Q 学校及び敷地内では職員等の完全禁煙を実施したらどうか。</p> <p>A 校舎内は全て分煙を徹底しているが、更に推移を見ながら検討していきたい。</p> |



視察報告

西川流域・海岸対策 特別委員会視察報告

○視察日

1月29日～30日

○視察先

①東京都 東京港防災事務所および辰巳水門、辰巳排水機場

②国土交通省 河川局 治水課

○研修目的

治水対策について

○視察内容

視察研修に先立ち、石川県および国土交通省金沢河川国道事務所へ一級河川「西川・熊田川」の治水対策について要望。また、その際の手取川水系河川整備基本方針で定めた計画高水流量（鶴来地点：5,000 m³/s）を流下させることを目標とした整備計画の説明を受ける。

①東京港防災事務所および辰巳水門、辰巳排水機場視察研修

東京港の海岸部は高潮（※）の影響を受けやすい地形であり台風や地震による津波、異常気象等で起こる潮位の上昇による水害を防止するために、水門や陸こう（陸上ゲー

ト）を閉鎖。さらに水門水位の上昇を防ぐため、排水機場のポンプで水門外側に排水。

※台風が近づいた時などに「吸い上げ効果」により海面が上昇。「吹き寄せ効果」により湾内で増大。高潮となる。

②国土交通省河川局治水課にて国の治水対策を研修

項目は最近の状況、平成18年度の迅速かつ広域的な災害対応、治水の原則（河川の水位を下げて洪水を安全に流す）、事前治水投資の有効性、河川管理施設の長寿命化。

今回、東京港では、高潮対策という海（外）からの「水」と水門等閉鎖による水門内（内）の「水」による災害対策を実感。また、国交省では、水系、上・中・下についての利害関係（水系の一部に治水対策を施すと他のエリアに逆に被害が及ぶことを）再認識。治水対策の究極は樋門（水門）と排水機施設であることを実感。手取川水系河川整備計画にうたわれている手取川下流部の河積の確保、本川の外水氾濫を防止するための樋門の設置等、支川「西川・熊田川」の治水対策の早期実現を目指していきたい。



▲東京港及び辰巳水門を視察



議会を身近に

浜小学校6年生議場を見学



2月23日と3月1日に、浜小学校の6年生(4クラス133名)が社会科学習の一環として、議会施設の見学に訪れました。議場において議会事務局職員から説明を受け、能美市民の一員として、議会をとて身近に感じることができました。
児童の感想文を紹介します。

●本会議場はとてもきれいで広くて、もう言葉では表せないほどすごかったです。
市議会では、

- “**条例**”市の仕事を進めるために必要な「きまり」を作ったり
- “**予算**”市の仕事を進めるためのお金の使い方を決めたり
- “**調査**”市の仕事が生民のためになるか、計画どおりに進んでいるかを確かめたり
- “**決算**”市のお金がきちんと使われているかを調べたりするのだなと思ひ、こんなことが市議会で決められていてびっくりしました。

(中出 沙絵)



▲真剣な表情で説明を受ける浜小6年生たち

●市議会に市民も参加すれば、さらに市民の意見を取り入れられると思う。あと、ぼくたち子どもからの意見も聞いてほしいなあ。
(広見 怜)

●これまでいろんな所を見学させてもらったけど、あんなに緊張感のある所は初めてです。私たちが座らせてもらったところには、普段えらい人たちが座っているんだなあと思うと、自然に姿勢を正して座っていました。議場で働いている人たちのおかげで私たちの生活がしやすく安全なのです。ありがとうございます。能美市をこれからも住みやすい町にしてほしいと思います。
(木下 遥香)

編集後記

去る3月25日に能登地区で震度6強の地震が発生し、大きな被害となった。建物の崩壊、道路の断裂、停電、断水などで1人死亡、235人が重軽傷を負い、全半壊や一部損壊した家屋は、1258棟、学校の損壊は100棟に上り、37カ所の避難所に1681人の方々が避難した。(3月28日北國新聞データ)

各地からボランティアの方々が集まり復興に向けての活動が始まっている。避難所生活が長引くことでの新たな病も発生しており、物心両面での支援活動で早い復興を願ってやみません。

能美市も3年目に入り、一体化したまちづくりを進めるための予算を可決しました。協働のまちづくりを進めるには、市民のみなさんの行動と協力が不可欠であり、議会や議会だよりに対するご意見も含めまして、よろしくお願いいたします。

(小手川 正明)



広報特別委員会
委員長：小手川 正明 副委員長：嵐 昭夫
委員：白川 寛 倉元 正順 北野 哲 福田 豊